



# はらじゅくかわら版

独立行政法人 国立病院機構

## 横浜医療センターの理念

私たちは、患者さまの人権を尊重し、思いやりの心をもって安全で納得していただける**患者様中心の医療**を目指します。

私たちは、急性期の地域医療を基盤として質の高い総合的な専門医療を提供すると共に、関係医療機関と密接な連携をもつ**地域完結型医療**を目指します。

私たちは、健全な病院経営を心がけ、患者様がより良い医療が受けられ、**地域で選ばれる病院**になるべく日々努力していきます。



千秀小学校の「かかしコンクール」(撮影) 大黒 正夫

## 第22号

## 目次

院長のことば「平成20年度後半の目標」	1
新病院建築状況	2
就任ご挨拶	
地域医療連携	
病診連携施設紹介	3
地域医療連携室から	4
お知らせコーナー	4
MDCT解析システムについて“冠動脈CTをはじめました” 検討会・研究会の開催	
看護が行う国際協力	5
ベトナム中部地域医療サービス向上 プロジェクト・フェ中央病院での活動から	
行事紹介	
～クリティカルパス大会～	6
看護部だより	7

初めまして。救命看護認定看護師です 交流研修でやってきました	
コメディカルから一コマ	
当院女性臨床検査技師学会特別賞を受賞	8
医師の人事異動/看護師募集	
職場紹介 治験管理室/西1階病棟	9
患者数の動向/編集後記	10
外来担当医表	11

発行 月：平成20年10月  
 発行 行：独立行政法人国立病院機構  
 横浜医療センター 広報委員会  
 発行責任者：高橋 俊毅  
 住所：横浜市戸塚区原宿3-60-2  
 電話：045-851-2621  
 FAX：045-851-3902  
 URL：http://www.hosp.go.jp/~yokoham/

# 平成20年度後半の目標

## 新病院建築に向けて

病院長 高橋 俊毅

新病院建築工事の契約が7月8日に無事締結することができ、工事現場事務所が設置され、工事範囲の樹木が伐採され、工事車両が頻繁に行き来する様に合わせ、基礎工事の重機音が軋み始め、将に職員全員の想いが現実の形になろうとしています。

「断らない病院」「地域に選ばれる病院」「患者様中心の医療」「地域完結型医療」の実践は提供する「医療の安全と質の向上」に結びつくとして、これまで本院が常に心がけてきたテーマです。

新病院にあってもソフト面ではこのテーマを堅持し、ハード面は患者様のアメニティーを重視して、

- ・良質の医療を提供する場としての安心感
- ・信頼感を感じてもらえる空間と療養の場としてゆったりとくつろげる空間
- ・外来の延長ではあるが外来部門から少し離れた位置の通院治療センター
- ・出来る限り日常生活に近い環境を確保する138室の個室
- ・7階建の病棟となる為、患者様用と業務用に分離したエレベーター
- ・公開空地（緑地公園）は、入院や外来患者様が利用しやすく街に開かれた庭園や駐車場やサービスヤードから分離した歩行者専用の歩道を確保するなど改善が図られています。

更に、救急医療と一般医療を積極的に取り組むためには、放射線機器等重装備な医療機器もダブル装備が必要と考えています。

半世紀に一度の全面建替に合わせ、全ての備品等をも更新したい気持ちは全職員の願望です。しかし、現実は何？

この想いを実現するには、事業計画の達成が必要であり、更なる改革も必要であり、改革のための戦略的経営を全員が心がけることです。そのためには、

1. 横浜医療センターとして地域医療提供体制が大局的、長期的に見たときの連携病院との対応が適切であるか。
2. 医療機器整備、専門外来、地域医療連携は医療・事業の方向性を示す基本となるので、その方向に誤りがないか。
3. 医療職（医師、看護師、ME等）の定数が現状維持のままでは進歩する医療界では遅れをとることになり、常に先行し拡大確保する強い意気込みが維持できているか。

また、地域の中核拠点病院、急性期病院として本院は地域住民の皆様の要望に充分応えているか、その検証が常に実施されているか。これは、他人に委ねることなく、ひとり一人、自らが考えて行動すべきと認識することです。

平成20年度も後半に入り、事業計画の達成が眼前の目標です。その先の最大の達成目標は、これから建ちあがる病院であり、今後半世紀、地域住民の要望に応え得る病院として整備される横浜医療センターなのです。

「断らない病院」として救急患者を受け入れることにより計画患者数を確保し、事業計画を堅持し、計画が砂上の城郭としないために、全員で頑張りたいと思っています。

## 新病院建築状況

営繕専門職 山崎 忠雄

工事が着工してから約3ヶ月が経過し、順調に進捗しています。これまでにプールや渡り廊下の解体工事、建築障害となる樹木の伐採工事が終了し、山留・掘削・杭工事に着手しているところです。

工事中、重機の騒音や振動により患者様並びに近隣の方々にご迷惑をおかけしておりますが、何卒ご理解とご協力をお願いいたします。



杭工事の様子

## 就任ご挨拶

脳神経外科医長 向原 茂雄

平成20年4月から着任いたしました向原(むかいはら)です。脳神経外科は私とともに瓜生(うりう)康浩医師、川原団医師、蔦木(つたき)明美医師が新たに加わり、今年度から人員が増員されました。

神経疾患は多岐にわたり、また緊急を要することも多いので神経内科医師と協力し、より充実した診療を提供できるよう努力してまいります。

よろしく願いいたします。



臨床工学技士 戸田 修一

10月より臨床工学技士(ME)として採用になりました戸田修一と申します。以前は横浜市内の大学病院に勤務し、主に体外循環(約100件/年)や血液浄化(約300件/年)、およびME機器(ポンプ類、人工呼吸器等)の中央管理業務に約11年間従事しておりました。

今後目標としては、井上技士と共にMEの地位向上に向け、業務の見直しと再構築を行っていき、開放的なME室を創造したいと思います。

宜しく願い致します。



# 地域医療連携 病診連携施設紹介 よしい内科クリニック

診療科目：内科・循環器科

平成15年9月に、汲沢1丁目の医療ビルの2階で開業させて頂いて5年になります。私は済生会横浜市南部病院で、循環器科という内科の一分野に長く勤務しておりましたため、開業当初はいろいろ戸惑うことが多々ありました。しかし多くの人々のおかげをもちまして、開業医の業務に慣れてきました。

当院は私の経験を土台に、高血圧や虚血性心疾患、不整脈等循環器疾患を主な分野として始めましたが、最近は糖尿病や高脂血症などの生活習慣病、さらには気管支喘息などの呼吸器系や、慢性肝炎などの消化器系の慢性疾患の患者様も診療させていただいています。また地域のご要望もあり、お子様の予防接種も実施しています。さらにごく少数ですが在宅診療も手がけています。最近、慢性疾患の患者様に合併して発症する急性疾患を含め、「かぜ」や腹痛などの急性疾患の患者様も増加しています。

開業医としましては、おかけの患者様が、入院が必要な状態になられた場合など、受け入れていただける病院が、是非とも必要となります。昨今の、病院と診療所を有機的に結ぶ「病診連携」のシステムは、開業医にとりましても「生命線」とでも言うべき、極めて重要なことである、と考えています。さいわい戸塚は病院が多く、とくに横浜医療センターにおきましては、循環器科の田中直秀先生はじめ多くの先生方に、大変お忙しいなかを、いつも快く患者様をお引き受けいただき、非常に心強く、心より感謝しております。また糖尿病内分泌内科の宇治原誠先生が始められました、糖尿病患者様の「クリニカルパス」も大いに活用させていただいています。

近頃「後期高齢者医療」問題などの医療問題が新聞に載らない日はなく、わが国の医療をめぐる多くの問題が正に噴出している状況です。しかしどんな情勢であろうとも、医療の根幹は、患者様に対する医療者の、「共に生きる」という人（ひと）としての思いであろう、と思います。つねにそのことを肝（きも）に銘じて、今後も微力ながらスタッフ一同地域医療にまい進する所存です。

今後ともどうぞよろしく願いいたします。



義井 讓 院長（中央）



## よしい内科クリニック

〒245-0061 神奈川県横浜市戸塚区汲沢1-10-46  
TEL 045-861-2511 FAX 045-861-2633

診療時間 月・火・水・金 9:00~12:30 14:30~18:00  
土曜日 9:00~12:30

休診日 木曜日、日曜日、祝日、土曜日の午後

## 地域医療連携室から

### 第2回地域医療支援病院運営委員会意見交換から 経営企画室長 樋口 弥

7月25日に地域医師会役員の先生方、行政機関である福祉保健センター、警察署及び消防署の長の方々にお集まりいただき、地域医療支援病院運営委員会を開催いたしました。

委員会では、救急医療の提供についてのご意見をいただきました。

救急医療のうち特に小児救急外来については、当院に限らず横浜市内では減少傾向にあること。これは救急車・徒歩来院に限らない傾向で、要因としては、行政による救急車の適正利用の呼びかけが浸透してきたこと、併せて時代背景の影響として、ガソリン代の高騰や診療報酬の改定などにより受診抑制が働いているのでは、との意見が出ました。

当院の場合は、救急外来から入院に至るケースは減少傾向にはないので、入院治療を要する救急の重症者比率が高まっていることが言えます。

急性期病院として、救急医療の提供については当院が最も注力している分野であります。重症患者様への入院医療の提供はもちろん、引き続き24時間365日、断らない医療の提供に取り組んで参ります。

## お知らせコーナー

### MDCT解析システムについて“冠動脈CTを始めました”

医療情報部長 田中 直秀

当院は平成19年9月に64列MDCT(Aquilion 64 東芝メディカルシステムズ社製)を導入し、運用を開始しました。この装置は最小0.5mmのスライス幅で1回転0.5秒という高速撮影が可能な汎用CT装置です。シングルCT装置と違い1回で全身の撮影も可能です。

実際、肺塞栓症が疑われる場合、1回の造影検査で肺塞栓の有無とその原因となる下肢静脈血栓の有無が検査出来ます。あらゆる臓器の画像検査が可能ですが、ワークステーションにより高精細な三次元再構成画像が得られるので、血管性病変の把握に抜群の有用性を発揮します。なかでも冠動脈のCT画像は4列MDCTの時代より画像再構成が試みられ、カテーテル検査をせずに冠動脈病変が分かるというのが、我々循環器医の大きな夢でした。64列MDCTの登場によりようやく、一般の病院でも冠動脈CTが可能となりました。

当院でも平成20年5月より冠動脈用ソフトを導入し撮影を開始しています。

撮影にあたっては、まだまだ制約が多く全ての患者さんが利用出来るわけではありませんが、技術やソフトの改良を重ね、なるべく沢山の患者さんのお役に立てるようにしたいと考えています。従来の血管撮影(カテーテル検査)では血管の内腔しか捉えられませんでした。MDCTによれば血管壁の情報が得られ、動脈硬化の成立・進展が直に分かるようになり、治療にも大いに貢献することが期待されています。カテーテル検査よりも先ずCT検査をと云う時代が間違いなく到来しようとしています。

## 横浜医療センター症例検討会・研究会開催のお知らせ

### 西横浜整形外科症例検討会

開催日時 毎月第3木曜日 午後7時～

開催場所 当院大会議室

連絡先 日塔整形外科部長

045-851-2621 (代)

### 横浜藤沢消化器疾患研究会

開催日時 毎月第2月曜日 午後7時～

開催場所 当院大会議室

連絡先 小松臨床研究部長・松島消化器科部長

045-851-2621 (代)

各症例検討会・研究会にご興味をお持ちの先生は、どなたでも参加を歓迎いたしますので、ご連絡下さい。

## 看護が行う国際協力

# ベトナム中部地域医療サービス向上プロジェクト・ フエ中央病院での活動から

看護部長 小西 洋子

日本が発展途上国に行っている政府開発援助(ODA)は、JICAを窓口为数多く行われてきています。特に保健医療に関する援助は、途上国からの要請も多く、最も重要視されてきました。今回出かけたベトナムのプロジェクトもその一つです。

ベトナムは南北に1650 kmに亘る細長い面積約33万km<sup>2</sup>、人口約8400万の社会主義国です。ベトナム戦争が終結したのは1975年、その後も色々な問題がありましたが、日本の政府開発援助(ODA)は1992年に再開され、1995年ホーチミン市(南部)の1600床のチョーライ病院、2000年ハノイ市(北部)の1500床のバクマイ病院に技術協力が行われ、以前、2病院の技術協力プロジェクトに関与していた関係で、中部に位置するフエ中央病院での活動要請を受けました。

派遣の目的は、「病院幹部、医師も含め、院内における看護師の役割を啓発・普及させ、意識改革を図る」という大それたものでした。

フエ中央病院は、3つのセンターと31診療科を持ち病床数1600床、入院患者数約2300人、医師数590人、看護師数569人、助産師147人、看護部は総合企画部に位置づけられ、実際は診療科の医師の下で業務していました。病院は、患者が廊下にあふれ、1つのベットに3人～4人が横たわり、トイレもシャワーも充分でなく、食事も自分で調達、看護の仕事は、注射や包帯交換、内服薬の配布で、患者の日常生活のケアはされず、家族に任されています。そのような中で、2006年9月から派遣されている、看護管理の専門家は地道に、看護本来の仕事とは何か、医療サービスの向上につながるために病院全体の情報を持つことの意義を話し、看護管理日誌の作成、院内教育の実施、看護活動チェックなどの支援を行ってきていました。歴史と伝統に誇りを持っている土地柄の中で意識を変えるのは容易ではありません。今、自分が置かれている状況もそうですが・・・



8月に就任したばかりの看護部長をけしかけ、短期専門家の立場を利用して、医長・看護師長対象のセミナー、看護師長グループワーク、管理会議の中で、看護部組織化の意義と役割を話してきました。何よりの成果は、新看護部長が、自らの言葉で、データをもってビジョンを示したことでした。「啓発」ではなく「挑発」になりました。看護の中心は患者であり、そのために目標を明確にして進む。どの国でもやはり進む方向は同じだと思いました。



派遣先病院での筆者



フエ中央病院 院長・看護師長対象セミナー

ベトナムへの出張は8年ぶり、近代的に整備された国際空港、高層ビルが立ち並ぶ街並みに衝撃と共に、ベトナムらしさが失われていく寂しさを感じました。でも、10年前に知り合った各病院の看護部長さん達は変わらず、新たな課題に取り組もうとどこまでも前向きでした。お陰で元気をもらったの帰国となりました。この出張にあたり、快く了解して下さった、院長先生、事務部長、手続きに奔走して下さった事務の方、不在中看護部を支えて下さった副看護部長、看護師長さんがたに心から感謝申し上げます。



フェ中央病院 病棟



チョーライ病院 外来

※ 海外で活動したいと思っている方へ

医療関係の多くの方が、日本国内外の苦しんでいる人々に何かしたい、何かできることはないかと考えていると思います。海外の災害に派遣されている緊急災害援助隊、海外青年協力隊に参加できるよう勉強をすることも大事なことです。NGOの活動に積極的に参加するのも、その人々を側面から応援することもよいことです。海外での活動のため、さまざまな勉強も必要ですが、私は、今あなたの目の前にいる患者さんに心を向け、寄り添い、その一人を大切にすることを忘れないでほしいと思います。

いま、目の前のその人を大切にし、その人を取り囲む家族や社会を尊重するということは、きっと宗教や教育・価値観の異なる海外であなたが活動する基盤になると思います。

## 行事紹介

### ～第13回クリティカルパス大会を振り返って～

東4階病棟看護師 近藤 卓

東4病棟では、平成13年より「心臓カテーテル検査パス」の運用を開始、平成18年にはDPC導入に伴うパス改定をしてきた。

今年4月の診療報酬改定では、特定入院期間が7日間から5日間へ短縮され、診療報酬が減額された為、パスの見直しをした。「心カテ7日」パスマイナスになるが、週末の患者確保を考慮すると有効であるため継続して使用する。「心カテ3日」パスの造影剤は2本から1本へ減量、カテーテルは3本から2本へ削減することで、プラスを確保できる結果が得られた。

これに伴い左室の評価を造影から心筋シンチに検査内容を変更することにした。

以上のパスを診療報酬改定に伴い検討したことで、微力であるが病院経営に効果を得ることができたことは非常に有意義であると考えます。今後も他の疾患パスについても検討し、将来の電子化に向けた取組みもしていきたいと考えています。



筆者

## 看護部だより

### 初めまして。救命看護認定看護師です。救命看護認定看護師 ICU 仲野 望

私は認定看護師試験に合格し、平成20年8月救命認定看護師となりました。突然病気を発症した患者様や交通事故などで受傷された患者様は、生命の危機に瀕しており命を救うために早急に処置が必要となります。またそのような突然の事態に患者様や御家族の方は戸惑い精神的に不安定になったり、日常生活にも問題が生じます。救命看護認定看護師の役割は、そのような患者様に対し救命のための看護技術を行ったり精神面の看護など、場面に応じた看護を行います。また他の看護師からの相談や指導を通して救命看護の質向上に努めます。

救急外来・救命救急センターでは、医師と協力して迅速に適切な看護を提供していきたくと思います。また、症例検討などを行い救命看護に関する知識や看護技術の向上を図るよう看護師の指導・支援をしていきます。救命看護認定看護師としての活動を通して横浜医療センターの救命看護の質向上を目指し、地域の方々の救急医療の期待に応えていきたくと思います。今後は救命看護のオープンセミナーも開催しますので、地域の看護師の方々参加をお待ちしています。



筆者

### 交流研修でやってきました

ICU看護師 森本 省吾

平成20年10月より、独立行政法人国立病院機構相模原病院から当院ICUに6ヶ月間の交流研修で赴任いたしました森本です。

私は急性期看護に興味があり、ICUや救命救急で働きたいと思っていました。今回、相模原病院でもICUを立ち上げる計画があり、この研修期間中に循環器疾患の急性期の看護や脳外科の術後管理など多くのことを学び、相模原病院での救命看護の発展に活かして行きたいと思っています。

6ヶ月間よろしくお願いたします。



筆者





## コメディカルからの一口メモ

### 当院女性臨床検査技師学会特別賞を受賞

臨床検査技師長 中島 治

去る9月6日、国立国際医療センターで開催された第36回国臨協関信支部学会において、当院臨床検査科の臨床検査技師、阿部真利さんが発表した演題「当院検査科の糖尿病チームケアユニットへの取り組み～病診連携の効果～」が、同学会特別賞を受賞しました。同学会は関東甲信越地区の国立がんセンターなど国立高度医療センターや国立病院機構病院の臨床検査技師が組織する学会で、学会特別賞はチーム医療への貢献や業務改善の努力を評価する賞とされています。

阿部さんは卒後3年の若い女性技師ですが、当院の医師、看護師、薬剤師、臨床検査技師、栄養士、理学療法士などが組織する糖尿病チームケアユニットのメンバーで、日頃から糖尿病教室講師や血糖自己測定(SMBG)指導に精力的に取り組んでいます。今回の発表は臨床検査技師が糖尿病チームケアユニットでこれまで取り組んできた実績と将来の展望について発表したもので、臨床検査技師が病院内だけでなく地域の患者様や各医療機関との連携に力を注いでいる事が評価されました。



(右)阿部真利さんと共同発表者(左)佐藤成彦主任

## 医師の人事異動

発令年月日	発令	職名	氏名	前施設	発令年月日	発令	職名	氏名
20.10.1	採用	循環器科医師	内田 吉枝	東京女子医科大学病院	20.9.30	退職	循環器科医師	八代 文
20.10.1	採用	小児科医師	野澤 智	横浜市立大学附属総合医療センター	20.9.30	退職	小児科医師	大山 宣孝
20.10.1	採用	産婦人科医師	高江洲 陽太郎	東京医科大学病院	20.9.30	退職	産婦人科医師	長谷川 瑛
20.10.1	採用	整形外科レジデント	城下 昇	北信総合病院	20.9.30	退職	整形外科レジデント	氷見 和巳

### 看護師(常勤・パート)募集

●勤務時間(始業時間・勤務日)勤務形態は、  
ご相談に応じます。

○常勤 40時間/週 ○パート 32時間/週

国立病院機構 横浜医療センター

〒245-8575 横浜市戸塚区原宿3-60-2

Tel. 045-851-2621

応募受付: 随時 月～金曜日(8:30～17:15)

副看護部長または給与係に電話連絡の上、履歴書・免許証のコピーを郵送して下さい。

# 職 場 紹 介

●今回は治験管理室と西1階病棟の紹介です。

## 治験管理室

治験管理室長（循環器科部長） 岩出 和徳

医学の進歩により、かつて治らないと言われた多くの病気が治療できるようになりました。新薬も続々と世の中に出てきています。しかし、薬は、ある日突然生まれてくるわけではありません。その素となる化合物が発見され、治験により有効性及び安全性を確かめた上、皆様の手に届くこととなります。治験とは、病で苦しむ人々の未来を支える新薬開発に必要な不可欠な仕事です。

当院治験管理室は、治験事務局を兼ね治験コーディネーターの活動の場として、・治験への同意説明文書作成支援、説明補助。・参加された患者さまのスケジュール調整。・症例報告書の記載補助。・患者さまの不安疑問に対する相談対応。等を通し、協力していただいている患者さまの安全を守ることを第一の使命とし、治験の円滑な進行を支援しています。専任の職員が3名の小さな組織ですが、医師・看護師、コ・メディカル、事務員等多くの職員に支えられ高い志を持って日々活動しています。

現在、当院における治験は、経口糖尿病薬、心房細動の血栓予防薬、慢性肝炎等患者様の協力のもと進行中です。

今後も必要な薬が、病気で苦しむ多くの患者さまの元へ一日も早く届くよう、皆さまのご協力をお願い致します。



ミーティング風景

## 西1階病棟

看護師長 篠原 祐子

当病棟は産婦人科病棟で、医師、研修医、助産師、看護助手などでスタッフ数は約35名で熟年スタッフと若いスタッフで活気のある明るい病棟です。最近の産婦人科の分娩施設の減少の影響を受け、当院は逆に分娩が増え、月70件前後の分娩を扱っています。また、産婦人科の特徴として緊急手術の患者さんも多く、分娩、手術ともにいつでも対応ができるよう体制を整えています。

看護側は全員が助産師です。妊娠中から母親学級や夫立会いクラス、助産師外来、母乳外来など病棟との連携をとって妊産褥婦さんに関わっています。助産師外来では妊娠中の不安に対するアドバイスや分娩のリハーサル、体重コントロールなどの指導を行っています。今後は退院後の育児不安についてもお母様方の協力できるような体制をとる予定です。

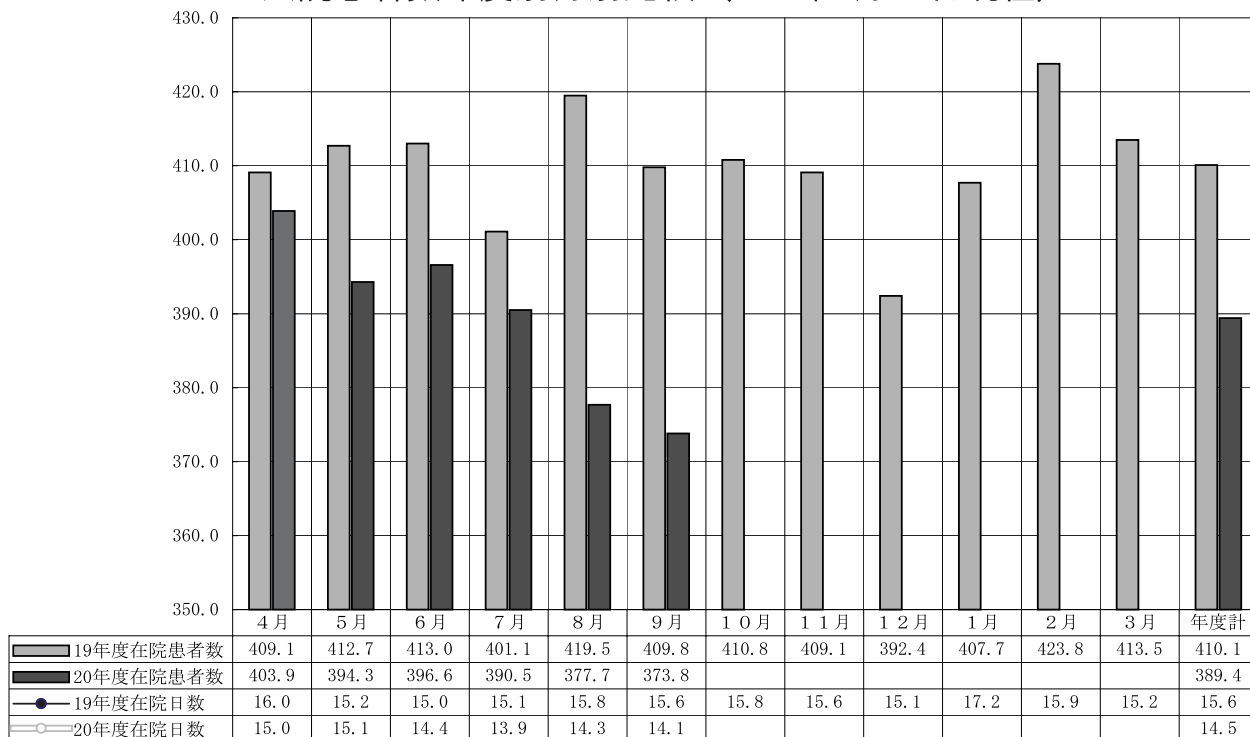
病棟一同、産婦さんにとって「頑張って出産できた」と思えるように、そしてお父さん、お母さん、赤ちゃんが安心して育児が出来るように関わっていきたくと思っています。



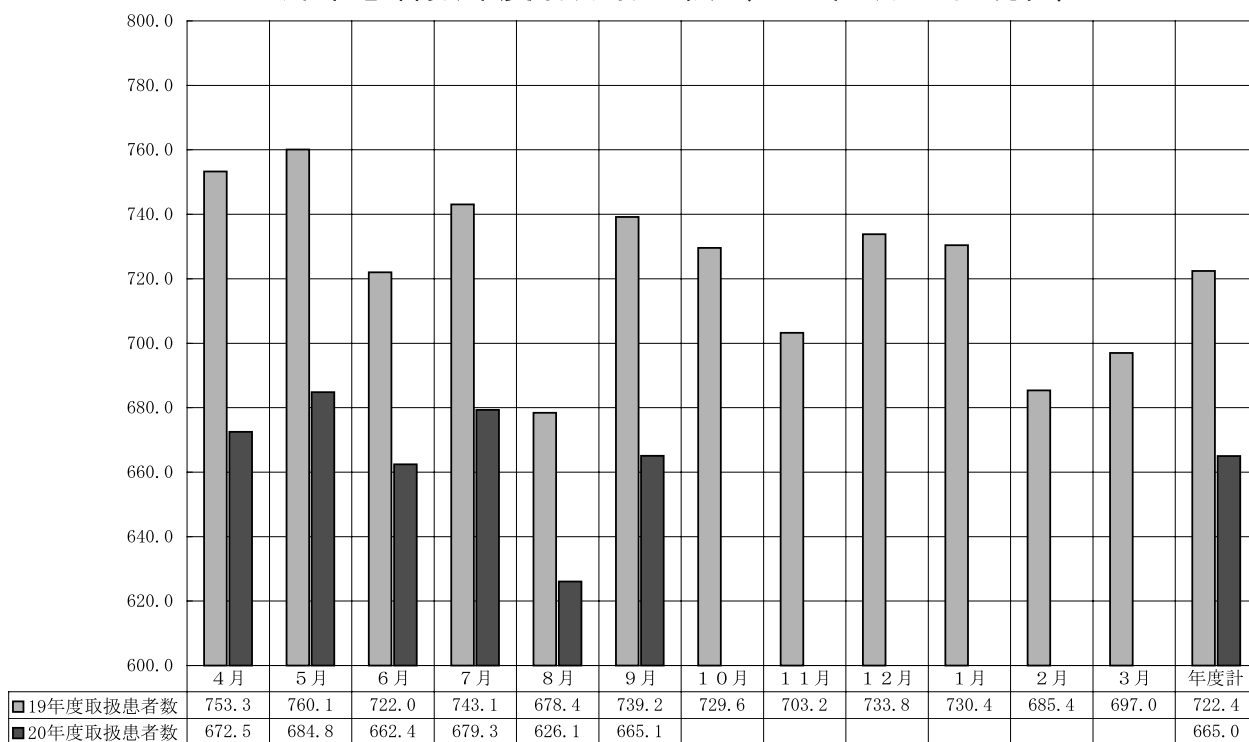
西1階病棟のスタッフ

# 患者数等の動向～1日平均～

入院患者数年度別月別比較 (H20年9月30日現在)



外来患者数年度別月別比較 (H20年9月30日現在)



## 編集後記

周辺にトンボが飛び始めたなどと思ったら、あっという間に季節は秋になってしまいました。病院周辺の木々も色づき始め、美しい紅葉が楽しみです。食べ物も美味しく、趣味やレジャーに最適な季節です。日頃の疲れを癒しに、どこかに出かけたいものですね。

その反面、夏の疲れが一気に出たり、寒暖の差が激しく、体調管理が難しい季節でもあります。10月は年度の折り返しでもあり、後半に向けて気持ちを新たに頑張っていきましょう。

看護学校教員 菅山明子



診療科・曜日	月	火	水	木	金	備考	
内科	総合内科	第1・3週内科 第2・4週循環器 第5週神経内科	消化器	呼吸器	関口 章子	曾我 隆義	△:午後1:00～2:00(受付時間)紹介状持参の方のみ  ▲:紹介状持参の方のみ  ■:午後の予約のみ 《循環器科新患当番医》 (月)第1・2[田中]・第3・4・5[岩出] (火)田中・(水)岩出・(木)田中[岩出]・(金)巽
	糖尿病 内分泌内科	高木 佐知子	川原 智子	須澤 直木	宇治原 誠	松浦 宏之	
	神経内科	上木 英人	△高橋 竜哉	検査日	遠藤 雅直	検査日	
	呼吸器内科	濱 雅文	検査日	山川 泰	検査日	椿原 基史	
	消化器内科	天野 寛美	鈴木 大輔	松島 昭三	渥美 友理子	小松 達司	
	循環器科	巽 藤緒	岩出 和徳	田中 直秀	▲田中 直秀	岩出 和徳	
	リウマチ膠原病科	曾我 隆義	検査日	検査日	■曾我 隆義	■関口 章子	
心療内科	検査日	成田・堀	武川 吉和	検査日	検査日	完全予約制(要紹介状)で午後のみ火曜日>奇数週(一般心身症)成田・偶数週(女性心身症)堀/<水曜日>(一般・小児心身症)武川	
精神科	山口 隆之	武川 吉和	山口 隆之	成田 博之 堀 亜希子	武川 吉和	※月～金:新患受付は10時まで受け付けます。(要紹介状、1日2名の予約制) 但し、当該医師以外の医師が診察いたします。詳細は精神科外来にお尋ねください。	
小児科	鍋木 陽一	菅井 和子	菅井 和子	鍋木 陽一	小林 慈典 注①	注①第4週 休診	
	小林 慈典	鈴木 健 注②	藤塚 麻子 注③	長濱 晶子	小郷 寛史	注②第4週 及川 注③第1週 小林 第5週 塩谷	
	和田 芳雅				野澤 智 注④	注④第1週 塩谷	
外科	清水 哲也	関戸 仁	松田 悟郎	松本 千鶴	注⑤	注⑤ 急患のみ受付	
	藪下 泰宏	小林 敦夫	一万田 充洋	藪下 泰宏			
呼吸器外科				山仲 一輝	坂本 和裕 山仲 一輝 椎野 王久	ご紹介については外来日以外でも随時受け付けておりますので、直接ご連絡ください。	
整形外科	国府 秀俊	日塔 寛昇	国府 秀俊	日塔 寛昇	日塔 寛昇	(受付時間)初診・予約外再診とも 8:30～10:00	
形成外科	小椋 研	国府 秀俊	河井 卓也	小椋 研	小椋 研		
	河井 卓也	城下 晃	岩本 直之	城下 晃	岩本 直之		
脳神経外科	高瀬 税		口高瀬 税	高瀬 税	高瀬 税	口:手術日のため午前のみ ▲:第1・3・5週(火)岡田 富 第2・4週(火)宮原 宏輔 ※詳細はPM1:00～5:00の間に地域医療連携室までお問い合わせください	
心臓血管外科	益子原 幸宏	手術日	東館 雅文	東館 雅文	東館 雅文	木曜日は予約患者のみ(新患受付無し)	
皮膚科	高須 博	山本 都美	高須 博	高須 博	高須 博		
	山本 都美	新山 奈々子	山本 都美	新山 奈々子	山本 都美		
	新山 奈々子				新山 奈々子		
泌尿器科	本田 直康	本田 直康	手術日	奥野 紀彦	本田 直康		
産婦人科	向田 一憲	小笠原 良治	窪田 与志	乗杉 輝彦	中村 秋彦		
	窪田 与志	平岩 美美子	小笠原 良治	中村 秋彦	向田 一憲		
眼科	清水 康平	手術日	清水 康平	清水 康平	手術日	(受付) 初診・予約外再診とも 月・水・木曜日 8:30～10:00 火曜日は新患(要紹介状)・急患のみとなります。8:30～9:30	
耳鼻咽喉科	新橋 涉	向出 光博	春日井 茂	小宅 大輔	休診	(受付) 初診・予約外再診とも 月～木8:30～10:00まで	
放射線科	栗原 須生美 注⑥		幡多 政治 注⑦			※注⑥月曜日13:30～15:30【予約は内線4307まで】【完全予約制】 ※注⑦水曜日9:00～11:00【完全予約制】	
歯科口腔外科	塩入 重彰 (再診のみ)	塩入 / 大槻 (午前初診・午後再診)	手術日	塩入 / 大槻 (午前初診・午後再診)	塩入重彰(再診のみ) 大槻伸江(再診のみ)	初診は、火・木曜日8:30～10:00。初診急患は随時受付(紹介状から直接ご連絡ください)。再診は完全予約制。再診急患は電話をお願いします。 初診:可能な限り、紹介状又は診療情報提供書を持参して下さい 詳細については歯科口腔外科部長にお問い合わせください。	
専門外来 (午後のみ)	小児	アレルギー(鈴木・菅井)	腎(長濱)※第1・3週	アレルギー(交代制)	乳児検診(交代医師)	循環器(鈴木)※第3以外	
		アレルギー検査(交代医師)	アレルギー(鈴木)	アレルギー(菅井)		予防接種(交代医師)	
	外科	癌化学療法外来	乳癌検診	癌化学療法外来	癌化学療法外来		乳癌検診については、毎週火曜日午後2時から2時30分まで、予約制で行います。予約は②番窓口及び電話で行います
			癌化学療法外来	スキンケア外来 ※第2・4週			
	スポーツ整形外科		※注⑧			※注⑧ 担当医:(国府・小椋) 毎週15:00～16:00	
	産婦	母親教室	助産師外来 ※注⑨ 母乳外来			※注⑨ 第2・4週	
循環		ヘルメカ外来 ※注⑩			※注⑩ 第1・3・5週[加藤] 第2週[巽]		

初診 受付: 平日 8:30～10:00  
再診 (予約外) 受付: 平日 8:30～10:00  
休診 日: 土曜・日曜日・祝日・12月29日～1月3日  
地域医療連携室(脳ドック受付)(TEL 045-853-2331)

※急患は随時受け付けます。来院前に病院にご連絡下さい。(TEL 045-851-2621)  
※紹介状又は、診療情報提供書をお持ちの方は、外来受付窓口にご提示下さい。  
※地域医療連携室 TEL 045-853-8355 (月～金 8:30～17:00)  
TEL 045-851-2621 (時間外、土・日・祝日)  
FAX 045-853-8356

お知らせ 色つき部分が変更箇所となります。ご確認の上受診ください。

(写真右)

戸塚は江戸時代には東海道の宿場として栄えており、旅籠の数も小田原に次ぐ所で江戸より10里、小田原まで10里と中間点にあるため、江戸を朝立ちして戸塚で泊まり翌朝小田原に向かって出発するので大変賑わった町でした。  
又、現在の戸塚消防署とスルガ銀行戸塚支店の間は大商店が立ち並び、旅籠や遊廓等が点在していました。

